

令和6年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る事後評価結果

領域番号	5101	領域略称名	出ユーラシア
研究領域名	出ユーラシアの統合的人類史学：文明創出メカニズムの解明		
領域代表者名 (所属等)	松本 直子 (岡山大学・文明動態学研究所・教授)		

(評価結果)

A (研究領域の設定目的に照らして、期待どおりの進展が認められる)
-----------------------------------

(評価結果の所見)

<p>本研究領域は、領域が設定した目標に向かい、出ユーラシア後に新大陸、オセアニア、日本列島に進出して新たな文明を形成した人類の足跡を、考古学はじめ多領域の融合連携から研究し、三元ニッチ構築モデル（人、物質、心）という新たな視座から統合する斬新で意欲的な研究であった。研究領域の設定目的に照らして、期待通りの成果と認められる。コロナ禍の困難な状況下であったが、総括班の指揮のもと、計画研究、公募研究との有機的な連携が図られ、ユニット研究の連携のもとで活発な研究活動が図られ、多くの研究成果を雑誌論文、専門書、国際学会などで提供した点は、予想される波及効果とともに高く評価される。その背景として総括班の強い指揮があり、有機的な研究体制を整え異分野を統合的研究に導いた点も高く評価される。</p> <p>本研究領域に参加した多くのポスドクや特任助教などが、終了後に大学教員などのポストに多く採用されたことは、若手研究者の育成に向け積極的な取り組みが功を奏したものとして高く評価される。</p>
--